

平成31年度 外国語科：SG コミュニケーション英語 I

コース・単位数	1年：特進コース（4単位）・アスリート特進（3単位）			
学習の到達目標	多様な言語活動を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を取り、情報や考えを理解し、英語で自分の考えを伝えるための基礎力を身につける。			
教科書	Revised POLESTAR English Communication I (数研出版)	副教材	英単語ターゲット 1400 4訂版 (旺文社)	
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の内容について知っていることや思っていることを発言しようとしたり、聞こうとしたりするか。 ・本文内のキーワードについて、自分で調べてきたことを発言しようとしたり、しっかり聞こうとしたりするか。 ・ペアワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとするか。 ・ネイティブスピーカーの先生に対して積極的に話しかけているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中に出た文法を用いて、正しい文を書くことができるか。 ・本文の内容を簡潔にまとめて話したり、書いたりすることができるか。 ・本文を読んで、自分の意見を話したり書いたりすることができるか。 ・Let's Talk! や PW において、ペアで対話を行い、自分の考えを話したり、相手の考えを聞いたりすることができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容が十分に理解できているか。 ・各 Part の脚注 CQ の問いに対し、本文の流れを的確に把握して答えることができるか。 ・Pre-reading Questions ・Listening Quiz を聞き取り、問題に答えることができるか。 ・わからない単語があっても、文脈から推測して文意をとることができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中に出た文法の用法を知っているか。 ・新出単語やイディオムや脚注例文や KEY LANGUAGE の表現を理解しているか。 ・本文中の話題や出来事などに関する知識があるか。 ・各パートに、多義語・句や節・時系列の表現・例示の表現などが用いられていることを理解しているか。
評価方法	授業中の態度・発言・ペアワークやグループワークの様子	小テスト・定期テスト・ワークシート・ペアワークやグループワークの様子	授業中の態度・発言・ペアワークやグループワークの様子	定期テスト・ワークシート・ペアワークやグループワークの様子

学年	学習単元	学習方法	評価のポイント
1年	Lesson 1 <i>Washoku</i> ---Japanese Food Culture	<ul style="list-style-type: none"> ・新出単語、イディオムなどの発音と意味を確認する。 ・本文を音読する。 ・内容が把握できたかどうか、T or F のリスニングクイズで確認する。 ・本文の内容についての英語の問いに、英語で答える。 ・世界遺産について調べる。 ・いくつかの和食を英語で紹介する。 	<p>全ての単元において、本文の内容について、簡潔に書いたり話したりして、自分の意見や感想を述べるができるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な英語の文の形（5文型）、to-不定詞（名詞的用法）を用いて正しい文が書けるか。
	Lesson 2 Different Bottles, Different Names	<ul style="list-style-type: none"> ・新出単語、イディオムなどの発音と意味を確認する。 ・本文を音読する。 ・内容が把握できたかどうか、T or F のリスニングクイズで確認する。 ・本文の内容についての英語の問いに、英語で 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形、to-不定詞（形容詞的用法・副詞的用法）、動名詞を用いて正しい文が書けるか。

	<p>Lesson 3 An Adventures of Ishikawa Naoki</p> <p>Lesson 4 Bright Stars in a Dark Sky ---Tekapo</p> <p>Lesson 5 The Story of <i>Amazing Grace</i></p> <p>Lesson 6 The Dark Side of Diamonds</p> <p>Lesson 7</p>	<p>答える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルのリサイクル製品について調べる。 ・ペットボトルの利用について自分の考えを英語で発表する。 ・新出単語、イディオムなどの発音と意味を確認する。 ・本文を音読する。 ・内容が把握できたかどうか、T or Fのリスニングクイズで確認する。 ・本文の内容についての英語の問いに、英語で答える。 ・石川直樹の冒険について調べる ・将来の夢について自分の考えを英語で発表する。 ・新出単語、イディオムなどの発音と意味を確認する。 ・本文を音読する。 ・内容が把握できたかどうか、T or Fのリスニングクイズで確認する。 ・本文の内容についての英語の問いに、英語で答える。 ・星の観察に適した場所の条件を調べる。 ・自分の住む場所ではどのような星座が見られるか調べる。 ・どのような自然観察に関心があるのかを英語で発表する。 ・新出単語、イディオムなどの発音と意味を確認する。 ・本文を音読する。 ・内容が把握できたかどうか、T or Fのリスニングクイズで確認する。 ・本文の内容についての英語の問いに、英語で答える。 ・歌詞の意味を考えながら、<i>Amazing Grace</i>を歌う。 ・日本で長く歌い継がれている歌を調べる。 ・歌の与える影響について、英語で考えを発表する。 ・新出単語、イディオムなどの発音と意味を確認する。 ・本文を音読する。 ・内容が把握できたかどうか、T or Fのリスニングクイズで確認する。 ・本文の内容についての英語の問いに、英語で答える。 ・映画「Blood Diamond」について調べる。 ・シエラレオネの現状について調べる。 ・アフリカの子供たちの救済について、自分の考えを英語で発表する。 ・新出単語、イディオムなどの発音と意味を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞、分詞の形容詞的用法を用いて正しい文が書けるか。 ・It seems that … / seem to do …、過去完了進行形、過去完了形を用いて正しい文が書けるか。 ・受動態の完了形、関係副詞を用いて正しい文が書けるか。 ・現在分詞を用いる分詞構文、S+V+現在分詞[doing]を用いて正しい文が書けるか。
--	--	--	---

平成31年度 外国語科：SG コミュニケーション英語 I

コース・単位数	1年：普通コース（4単位）			
学習の到達目標	英語を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考え方などを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。			
教科書	MY WAY English Communication I New Edition（三省堂）	副教材	三訂版 VALUE1400（数研出版） WISH 総合英語（文英堂）	
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、自分の考えなどを表現している。	外国語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。
評価方法	① 間違いを恐れず、積極的に言語活動を行おうとしている。 ② 様々な工夫をすることでコミュニケーションを続けようとしている。	① 情報や考えなどを正確に話したり書いたりすることができる。 ② 言語活動を使って、文章を書くことができる。	① 本文を読んで内容や場面を正確に読み取り、理解することができる。 ② 英文を聞いて、内容を聞き取り、理解することができる。	① 言語に対する知識：言語材料を正しく理解し、運用することができる。 ② 文化に対する知識：課で扱ったトピックや問題などについて理解することができる。

学年	学習単元	学習方法	評価のポイント
1年	Lesson1 A Story about Names Lesson2 Messages from Yanase Takashi Wish 総合英語 Lesson 3 Purposes of the Olympics Lesson 4 Hospital Art Wish 総合英語 Value 1400 Warm up Lesson 5 Writing Systems in the World Lesson 6 Washoku – Traditional	[名前、比較文化]姓名の順、姓のない国など、名前をめぐる世界の状況を学ぶ。 SV/SVO/SVO1O2 [平和、芸術]やなせたかしさんがアンパンマンを通して伝えたメッセージを学習する。 SVOC/SVO(O=that節)/比較級、最上級を確認する。 動詞、時の表し方を学習する。 [スポーツ、国際交流]オリンピックの歴史とその目的を調べる 助動詞/受け身/助動詞のついた受け身を学習する。 [芸術、医療]病院で見られるアートが人々を癒すことを考える。 現在進行形/現在完了形/過去完了形を学習する。 完了形、助動詞、受動態を学習する。 基本200語を復習する。 [ことば、比較文化]世界の様々な文字には独自の成り立ちや書き方があることを知る。 動名詞/to不定詞/It is ... to不定詞を学習する。 [伝統文化、食]無形文化遺産に登録された日本の	<ul style="list-style-type: none"> ・be 動詞、基本的な一般動詞の現在形を使って正確な文で話すことができるか。 ・be 動詞と一般動詞の平叙文、否定文についての知識を身に付けているか。 ・基礎的な不規則動詞の活用を理解しているか。 ・助動詞や過去形を正しく用いて話したり書くことができるか。 ・進行形、完了形の文を正確に書き、自分の意向を表現することができるか。 ・不規則動詞を書くことができるか。 ・中学既習の基本的な単語の意味を理解し、書くことができるか。 ・不定詞、動名詞を用いて自分の意思を正確に伝えることができるか。

	<p>Japanese Dishes</p> <p>Wish 総合英語 Value 1400 Step 1</p> <p>Lesson 7 From Landmines to Herbs</p> <p>Wish 総合英語 Value 1400 Step 2</p> <p>Lesson 8 A Mysterious Object from the Past</p> <p>Wish 総合英語 Value 1400 Step1,2 復習</p>	<p>伝統的な食文化について知識を深める。 関係代名詞/SVO1O2(O2=how to ~)を学習する。</p> <p>分詞、動名詞、関係詞の用法を学習する。</p> <p>1000ワードレベルの単語を復習する。</p> <p>[平和、国際交流]カンボジアの地雷地帯で作られたハーブを活用する篠田ちひろさんの活動を調べる。</p> <p>現在分詞、過去分詞の形容詞的用法/分詞構文を学習する。 関係詞、比較の用法を理解する。 1500ワードレベルの単語を復習する。</p> <p>[自然科学、歴史]古代の沈没船から見つかった、高度な歯車構造の驚くべき機械について理解を深める。 関係副詞/It is ... that ~の用法を学習する。</p> <p>仮定法過去、仮定法過去完了、仮定法を用いたいろいろな表現を習得する。</p> <p>1000ワードレベル、1500ワードレベルの単語を復習する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 関係代名詞の用法を理解し、名詞を修飾する形容詞節を用いた表現ができるか。 • 準動詞を使って英文を書いたり様々な場面で相手に伝えることができるか。 • 基本単語を十分に熟知し、単語が様々な意味を持っていることを理解しているか。 • 分詞で名詞を修飾する表現を用いて自分の意思を伝えることができるか。 • 関係副詞の用法、比較表現の基本を理解し、書くことができるか。 • 関係副詞や形式主語など、一文の中に意味上異なった文を加える文法的な働きを理解しているか。 • 仮定法の基本的考えを理解し、英語を書いたり話したりできるか。 • 単語の意味を理解するだけでなく、実際に英文の中で単語を使うことができるか。
--	---	--	---

平成31年度 外国語科：SG コミュニケーション英語Ⅱ

コース・単位数	2年：特進理系コース（3単位）・特進文系コース（5単位）・アスリート特進コース（4単位）			
学習の到達目標	多様な言語活動を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、情報や考えを的確に理解し、英語で自分の考えを適切に伝える能力を伸ばすことができるよう配慮する。			
教科書	Revised POLESTAR English Communication II (数研出版)	副教材	Jr. イフェクティブ長文読解 (エスト出版) CROSS SECTION Standard (啓隆社) 英文で覚える英単語ターゲット1400R (旺文社)	
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	知っていることや思っていることを発言しようとしたり、聞こうとしたりする。	各Partの脚注CQの問いに対し、本文の流れを的確に把握して答えることができる。	本文を読んで、自分の意見を話す／書くことができる。	文法の用法を理解している。 KEY LANGUAGEの表現を理解している。
評価方法	授業中の態度・発言 ペアワークやグループワークの活動の様子	小テスト・定期テスト ワークシート・ペアワークやグループワーク	授業中の態度・発言 の発表	定期テスト・ワークシート・ペアワークやグループワークの様子

学年	学習単元	学習方法	評価のポイント
2年	1. Japan through Foreign Eyes	日本在住の様々な国籍の人に行ったインタビューからわかる外から見た日本の姿を学ぶ。 完了不定詞と助動詞の完了形を学習する。	ペアワークなどのコミュニケーション活動に参加できているか。
	2. Saving the Koalas in Australia	減りつつあるコアラの現状とオーストラリアコアラ基金の活動について学ぶ。 前置詞+関係代名詞と形式目的語itを学習する。	文章が正確に読むことができているか。
	3. Table for Two—Helping Others as You Eat	飢餓に苦しむ人々を救うために考えられたTable For Twoの設立の経緯について学ぶ。 関係代名詞（継続用法）と受動態（進行形）の用法を学習する。	本文を読んで、自分の意見を話す／書くことができているか。
	4. Hayabusa—the Miraculous Return	2010年、小惑星イトカワからのサンプル採取に成功した「はやぶさ」の物語を読み、その経緯と功績について考える。 分詞構文（完了形）とwhat+little+名詞の用法を学習する。	Let's Talk! やPWにおいてペアで対話を行い、自分の考えを話すことができているか。
	5. Isamu Noguchi—Artistic Genius	世界中にその作品を残す芸術家イサム・ノグチの功績と苦悩について学ぶ。 句と節を受けるwhichとbe+to不定詞の用法を学習する。	
	6. The Miracle of Curitiba	ブラジルの都市、クリティバの市長による市民のための都市改革の功績について学ぶ。 複合関係詞と使役動詞の用法を学習する。	
	7. Sawada Miki—Mother of Two Thousand	たくさんの混血児たちのために人生を捧げた女性、澤田美喜が直面した苦悩について、その理由を考える。 as if と so/neither+（助）動詞+主語の用法を学習する。	

	<p>8. Nelson Mandela and the Springboks</p>	<p>ネルソン・マンデラが国をまとめるためにどのようなことを行ったのかについて学ぶ。 関係代名詞（継続用法）～+of whichとto不定詞（結果）の用法を学習する。</p>	
	<p>9. The Most Advanced Water— "NEWater "</p>	<p>水問題を抱えたシンガポールが下水を浄化・精製して作る再生水「NEWater」について学ぶ。 分詞構文（過去分詞形）と仮定法の用法を学習する。</p>	
	<p>10. Donald Keene : Opening a Window on Japanese Culture</p>	<p>ドナルド・キーン氏が日本に傾倒していった経緯と彼の人生について学ぶ。 主語の省略と付帯状況のwithの用法を学習する。</p>	

平成31年度 外国語科：SG コミュニケーション英語Ⅱ

コース・単位数	2年：理系・文系コース（3単位） 3年：理系コース（3単位）文系Ⅰコース（4単位）文系Ⅱコース（3単位）			
学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。			
教科書	MY WAY English Communication II New Edition（三省堂）	副教材	WISH 総合英語（文英堂） VALUE1400[三訂版]（教研出版）	
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を図ろうとする。	外国語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解して判断する	外国語で話したり書いたりして、自分の考えなどを表現している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。
評価方法	(a) 授業中の活動 (b) 発表 (c) 課題の提出 (d) 小テスト (e) 定期テスト	(a) 授業中の活動 (b) 発表 (c) 課題の提出 (d) 小テスト (e) 定期テスト	(a) 授業中の活動 (b) 発表 (c) 課題の提出 (d) 小テスト (e) 定期テスト	(a) 授業中の活動 (b) 発表 (c) 課題の提出 (d) 小テスト (e) 定期テスト

学年	学習単元	学習方法	評価のポイント
2 年	Lesson 1 Pictograms	・身近にあるピクトグラム、国や地域によって異なるピクトグラム、日本発祥のピクトグラムなどについて学ぶ。 SVC / SV0 / SV0(0=if節) / SVC (C=過去分詞)	・国や地域による違いから、文化の違いを認識することができるか。 ・文型の基本である第1文型、第2文型の理解、応用ができるか。
	Lesson 2 A New Way to Clean Up the Ocean	・あるオランダ人の若者による海のプラスチックごみ回収のための取り組みやその挑戦する姿勢について学ぶ。 SV0 ₁ 0 ₂ (0 ₂ =if節、that節、what節) / it seems that ~	・海のごみ回収のしくみを理解できたか。 ・第4文型を応用できるか。
	Lesson 3 Cuba	・キューバの歴史が生み出した文化的な特徴や、平等と助け合いに重点を置いた社会制度について学ぶ。 It is ... to不定詞 / It is ... that ~ / 形式目的語	・キューバの文化や社会の特徴に着目し、その優れた点や、日本との類似点・相違点を考えることができたか。
	Lesson 4 The World's Poorest President	・「世界で最も貧しい大統領」と呼ばれたウルグアイのホセ・ムヒカ元大統領の「幸せ」についての考え方を学ぶ。 SVOC (C=動詞の原形、過去分詞) / SV0 + (to)不定詞	・現代社会における「経済発展」と「幸せ」の関係について考える態度が身についたか。 ・第5文型の理解、応用ができるか。
	Lesson 5 Eye Contact	・デフリンピックに参加したろう者女子サッカー選手からアイコンタクトの大切さを学ぶ。 関係代名詞 / 前置詞+関係代名詞 / 関係代名詞・関係副詞の非制限用法	・目で伝えるコミュニケーションの大切さについて考えることができたか。 ・関係代名詞の基本用法が身についたか。

3 年	<p>Lesson 6 A Space Elevator</p> <p>Lesson 7 An Encouraging Song</p> <p>Lesson 8 Language Contacts</p> <p>Lesson 9 Charles Chaplin</p> <p>Lesson 10 The Five-story Pagoda of Horyuji</p>	<p>・宇宙エレベーターの構造について学び、その実現可能性について考える。 現在完了形 / 現在完了進行形 / 過去完了進行形 / 未来進行形</p> <p>時代を超えて歌い継がれるZARDの『負けないで』について知り、坂井さんはどのような思いを込めたのかを知る。 助動詞 / 助動詞+have+過去分詞 / wouldを使った表現 / 完了不定詞</p> <p>・小笠原諸島の「小笠原言語」を例に複数の言語が出会うとき、互いに及ぼす影響について考える。 仮定法過去 / 仮定法過去完了 / ifを使わない仮定法 / no matter+疑問詞</p> <p>・20世紀の喜劇王と呼ばれたチャップリンの半生を学び、喜劇王になるまでの葛藤について学ぶ。 分詞構文（現在分詞、過去分詞） / 完了形の分詞構文 / 付帯状況のwith</p> <p>・1300年もの間倒れずにその姿を保っている法隆寺の五重塔の秘密を学ぶ。 同格のthat / 倒置 / 省略 / 強調構文</p>	<p>・宇宙エレベーターについての説明文を的確に読み取ることができたか。 ・完了形、進行形の基本が身についたか。</p> <p>・歌詞に込められた思いを認識できたか。 ・この歌がどのように人々を励ましたのかを理解できたか。</p> <p>・言語接触によって生まれた言語について、ことばの大切さを考えることができたか。</p> <p>・人生経験を糧に悲劇から喜劇を生み出した経緯を理解できたか。</p> <p>・五重塔の構造を的確に読み取れたか。 ・東洋と西洋の建造物の違いについて、認識できたか。</p>
--------	--	---	--

平成31年度 外国語科：SG コミュニケーション英語Ⅲ

コース・単位数	3年：特進理系コース（4単位） 特進文系コース・アスリート特進コース（4単位）			
学習の到達目標	英語を通じて、場面や状況、背景、相手の表情や反応などをふまえて、話し手や書き手の伝えたいことを的確に理解するとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や能力を身につける。			
教科書	Revised Polestar English Communication III (数研出版)	副教材	Sr. イフェクティブ長文読解(エスト出版) 英文で覚える英単語ターゲット 1900R (旺文社) Deep Listening Level 2(日本英語検定協会)	
	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	テーマに対して知っていることや思っていること、自分なりに考えた意見を発言しようとしたり、しっかり聞こうとしたりする。ペアワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとする。	テーマについて理解できる。本文の流れを的確に把握して答えることができる。Listening Quiz を聞き取り、問題に答えることができる。わからない単語があっても、文脈から推測して文意をとることができる。	本文の内容を簡潔にまとめて話す／書くことができる。本文を読んで、自分の意見を話す／書くことができる。テーマについてペアで対話を行い自分の考えを話すことができる。	傍注の語を理解している。本文中に用いられている表現を理解している。テーマについての理解や背景知識がある。
評価方法	スピーチ・プレゼン ペアワーク・グループ内の話し合いへの参加度	リーディングテスト リスニングテスト 定期考査	スピーチ・プレゼン ライティング課題 ペアワーク・グループ内の話し合いへの参加度	英単語・熟語小テスト 定期考査

学年	学習単元	学習方法	評価のポイント
3年	Lesson 1 Technology Lesson 2 Language and Communication Lesson 3 Society Lesson 4 Life and Education Lesson 5 Culture and Communication Lesson 6 Economics Lesson 7 Language and History Lesson 8 Life and Education	<ul style="list-style-type: none"> ・ Warm-up でテーマへの関心を持つ。 ・ ペアで Focus on Words の解答を検討し、発表する。 ・ 新出単語を発音し、意味の確認を行う。 ・ 本文を聞き、内容に関するワークシート等を利用して本文の大意を捉えた後、細かい点にも注意して読む。その際、重要表現や高校3年までの既修文法事項を復習・確認する。 ・ Say It in Your Own Words で、本文の内容を自分の言葉で説明する活動を行う。 ・ Listening で本文に関連する会話を聞いて内容を確認する。 ・ Speaking/Writing で英語の質問に英語で答えたり、本文の内容をまとめたりする活動を行う。 ・ Discussion/Debate で与えられたテーマについて、賛成・反対を述べたり、グループで意見を出し合ったりする。 ・ Research and Presentation で本やインターネットで調べた内容をまとめてプレゼンテーションを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマについて知識・関心があるか。 ・ 未知の単語でも文脈や単語の成り立ちや語源から推測して語彙を増やすことができているか。 ・ 積極的に発音し、正しいアクセント・イントネーションを習得しようとしているか。 ・ 事物の紹介や対話、討論などを聞いて、概要を理解することができる。 ・ 教科書の英文を速読して、概要を理解することができる。 ・ 事物の紹介や対話、討論などを聞いて、要点や詳細を理解することができる。 ・ 教科書の英文を精読して、詳細を理解することができる。 ・ 英文を読んでその内容を自分の言葉で説明し、最終的に自分の意見を発信できる。

平成31年度 外国語科：英語表現 I

コース・単位数	1年：特進・アスリート特進コース（3単位）			
学習の到達目標	情報や考えなどを、場面や目的に応じて英語で書く能力を更に伸ばすとともに、この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。生徒が情報や考えなどの送り手や受け手になるように具体的な言語の使用場面を設定して、コミュニケーション活動を行う。			
教科書	MAINSTREAM English Expression I 2nd Edition（増進堂）	副教材	新版 –est English Grammar 26 Workbook（エスト出版） Best Avenue 新エスト総合英語四訂版（エスト出版） 改訂版 英熟語センター750（ナガセ）	
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	コミュニケーションに関心を持ち、英語で書いたり話したりする言語活動を積極的に行い、コミュニケーションを図ろうとしているか。	情報や考えなど伝えたいことを、場面や目的に応じて整理し、英語で書いたり話したりして表現しているか。	英語を聞いたり、読んだりして、情報や話し手や書き手の意向など相手が伝えようとすることを理解しているか。	英語で話したり書いたりする学習を通して、言語やその運用の知識を身に付けるとともに、その背景にある文化を理解しているか。
評価方法	日常の授業態度	課題やレポート ペアワーク等	発問に対する回答 ペアワーク等	小テスト 定期考査 発表

学年	学習単元	学習方法	評価のポイント
1年	1. Nice to Meet You 2. What Kind of Music Do You Like? 3. My Treasure 4. This Coming Weekend 5. Subjects I'm Taking 6. Are You in a Club? 7. The School Festival Is Soon 8. Getting to Asahi Senior High School 9. The Store I Often Go To 10. I Feel Sick 11. Volunteer Activity 12. Japanese Food 13. Countries Around the World 14. Reduce, Reuse,	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文の要素を学習し、英語で自己紹介文を書く。 ・ 現在形の性質を学習し、自分の好きな音楽について英語で書く。 ・ 過去形の性質を学習し、自分の大切なものについて英語で書く。 ・ 未来を表す表現を学び、週末の予定を英語で書く。 ・ 進行形の働きを学習し、自分の勉強している科目について英語で書く。 ・ 現在完了形の働きを学習し、クラブ活動について英語で書く。 ・ 現在完了進行形、過去完了形の働きを学習し文化祭について英語で書く。 ・ 助動詞、命令文の働きを学習し、英語で道案内ができるようにする。 ・ 助動詞、命令文の働きを学習し、英語で道案内ができるようにする。 ・ 不定詞の働きを学習し、健康状態について英語で書く。 ・ 動名詞の働きを学習し、ボランティア活動について英語でメールを書く。 ・ 分詞の働きを学習し、日本の食べものについて英語でリーフレットを作る。 ・ 関係代名詞の働きを学習し、留学に関する手紙を英語で書く。 ・ 比較の用法を学習し、ゴミ問題について英語 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5文型、品詞、修飾関係について理解し、言語を運用することができているか。 ・ 12種類の時制について理解し、言語を運用することができているか。 ・ 助動詞について理解し、言語を運用することができているか。 ・ 準動詞について理解し、言語を運用することができているか。 ・ 関係詞について理解し、言語を運用することができているか。 ・ 比較表現について理解し、言

	<p>Recycle</p> <p>15. We Are What We Eat</p> <p>16. An Impressive Book</p>	<p>で学校新聞の記事を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 関係副詞の働きを学習し、食べ物についての意見をまとめる。 • 仮定法の働きを学習し、おすすめの本について英語でブックレビューを書く。 	<p>語を運用することができるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 仮定法について理解し、言語を運用することができるか。
--	--	---	--

平成31年度 外国語科：英語表現 I

コース・単位数	2年：理系コース（2単位）・文系コース（3単位）			
学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。			
教科書	New ONE WORLD Expressions I Revised Edition（教育出版）	副教材	高校英語基礎のキソ（高校初級用）（日栄社）六訂版 英語演習ノート ORNGE 版（数研出版）	
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	積極的に発言をしたり、コミュニケーションを図ろうとしているか。	英語を聞いたり読んだりして、その情報を的確に理解しているか。	論理の展開や表現方法を工夫ながら英語で伝えているか。	英語の知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化を理解しているか。
評価方法	コミュニケーション活動への参加態度 ノートとワークシートの内容	コミュニケーション活動への参加態度 ノートとワークシートの内容	定期考査 ノートとワークシートの内容	定期考査 ノートとワークシートの内容

学年	学習単元	学習方法	評価のポイント
2年	Lesson 1 My Name Is Michael Smith Lesson2 We are Going to Have a Picnic 高校英語基礎のキソ 名詞～助動詞(2) Lesson3 School Rules Lesson 4 Going to Canada to See Hiroko Lesson 5 It's a Small World. 高校英語基礎のキソ 文の種類(1)～時制(2) Lesson6 What Is This Called? Lesson7 I Like Playing the Piano? 高校英語基礎のキソ	<ul style="list-style-type: none"> ・写真に関する質問に対して答える。 ・Model Passage内容に関する質問に口頭で答える。 ・Model Passageを音読する。 ・T or FとListen & Chooseに答え、学習する用法が使われた英語が理解できているか確認をする。 ・Grammar in Focusで学習する用法を解説し、TRYの問題を解きながら確認する。 ・Practiceで用法を問う問題を解き、理解を深める。 ・Workoutを用いてペアで対話練習する。 ・Challenge で与えられたテーマについて英文を書く。 ・現在形・過去形・現在進行形を用いた表現を学習する ・未来表現を用いた、未来の計画や予測を表す表現を学習する。 ・助動詞 must, should, may を用いた、義務や許可を表す表現を学習する。 ・to 不定詞の3つの用法のつくり方を学習する。 ・現在完了形、過去完了形、現在完了進行形、過去完了を用いた、完了・結果・経験・継続などを表す表現を学習する。 ・受け身を用いた、事物を説明したり描写したりする表現を学習する。 ・動名詞を用いた表現を学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・副教材を用いて、既習の文法事項と各単元の文法の用法を整理して理解しているか。 ・積極的にペアワークやグループワークに参加できているか。 ・多少のミスは恐れず、自分の考えや気持ちを相手に伝えることができているか。 ・教科書の予習・復習がしっかりできているか。 ・各レッスンで取り上げている重要表現が、レッスンの始めにあるモデル文のどこで使われているかを調べ、意味が確認してあるか。 ・自分の出身や好きなこと、部活動について英語で表現し、自己紹介ができるか。 ・現在形、過去形、現在進行形、過去進行形を用いて作文や口頭で表現でき、また、意味を理解できるか。 ・紹介し合った内容に対してお互いに質問をすることができるか。 ・主語と動詞の揃った文を書くことができるか。 ・予定や計画について英語で表現し、会話を展開できるか。 ・作文や口頭で未来表現を用いて表現できるか。またその意

<p>完了形(1)～不定詞(1) Lesson8 I Almost Forgot to Tell You.</p>	<p>・to 不定詞、原形不定詞を用いた表現を学習する。</p>	<p>味を理解できるか。 ・会話を途切れさせず続けることができるか。 ・大きな声で発表ができる。 ・発表者に対して質問ができるか。</p>
<p>Lesson9 Reading Books</p>	<p>・同等比較や倍数比較を用いた、事物を比較する表現を学習する。</p>	<p>・インターネットで得た情報をもとに、日本の祭りを紹介する英文を受動態を用いて書くことができるか。</p>
<p>Lesson10 Photos from Hawaii 高校英語基礎のキソ 不定詞(2)～比較(2)</p>	<p>・前置詞句や分詞による後置修飾を用いた、事物を説明したり、描写したりする表現を学習する。</p>	<p>・会話や作文の中で受動態を正しく活用することができるか。</p>
<p>Lesson11 A Partner Who Does Housework</p>	<p>・関係代名詞 who, which, that を用いた、事物を詳しく説明したり、描写したりする表現を学習する。</p>	<p>・受動態が用いられた英文を正しく理解することができるか。 ・大きな声で、発表できるか。 ・発表者に対して質問することができるか。</p>
<p>Lesson12 What Impressed Me Most</p>	<p>・関係代名詞 whose, what, that を用いた、事物を詳しく説明したり、描写したりする表現を学習する。</p>	<p>・自分と友達の好みについて、英語で会話することができるか。</p>
<p>Lesson13 A Country Where English Is Spoken 高校英語基礎のキソ 関係代名詞(1)～分詞構文</p>	<p>・関係副詞 when, where, why, how を用いた、事物を詳しく説明したり、描写したりする表現を学習する。</p>	<p>・動名詞を理解し、口頭や作文の中で積極的に用いることができるか。 ・動名詞が使われた英文の意味を正しく理解することができるか。</p>
<p>Lesson 14 Electronic Dictionaries</p>	<p>・接続詞を用いた事物を詳しく説明したり、描写したりする表現を学習する。</p>	<p>・積極的に知らない単語を調べ、今まで学んだ文法を活用しながらまとまった30語程度の英文を書くことができるか。</p>
<p>Lesson 15 I was Reading, Eating Sembei</p>	<p>・分詞構文を用いて情報を正確に伝える表現を学習する。</p>	<p>・自分が体験したことについて英語で表現することができるか。</p>
<p>Lesson 16 If I Were You, I Would Practice Harder</p>	<p>・仮定法を用いて情報を正確に伝える表現を学習する。</p>	<p>・SVO, SVO₁O₂の文型を正しく理解し、会話や作文の中で積極的に活用することができるか。 ・SVO, SVO₁O₂の文型が使われた英文を正しく理解することができるか。 ・知覚動詞を覚え、英作文の中で活用することができるか。 ・知覚動詞が使われた英文を読み、理解することができるか。 ・会話を途切れさせず続けることができるか。 ・30語程度で新しい単語を取り入れて書くことができるか。</p>

平成31年度 外国語科：英語表現Ⅱ

コース・単位数	2年：特進理系・特進文系・アスリート特進コース（3単位）			
学習の到達目標	情報や考えなどを、場面や目的に応じて英語で書く能力を更に伸ばすとともに、この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。生徒が情報や考えなどの送り手や受け手になるように具体的な言語の使用場面を設定して、コミュニケーション活動を行う。			
教科書	MAINSTREAM English Expression II 2nd Edition（増進堂）	副教材	Bring Up! 英文法育成ドリル（エスト出版） Best Avenue 新エスト総合英語四訂版（エスト出版） 改訂版 英熟語センター750（ナガセ）	
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	コミュニケーションに関心を持ち、英語で書いたり話したりする言語活動を積極的に行い、コミュニケーションを図ろうとしているか。	情報や考えなど伝えたいことを、場面や目的に応じて整理し、英語で書いたり話したりして表現しているか。	英語を聞いたり、読んだりして、情報や話し手や書き手の意向など相手が伝えようとすることを理解しているか。	英語で話したり書いたりする学習を通して、言語やその運用の知識を身に付けるとともに、その背景にある文化を理解しているか。
評価方法	日常の授業態度	課題やレポート ペアワーク等	発問に対する回答 ペアワーク等	小テスト 定期考査 発表

学年	学習単元	学習方法	評価のポイント
2年	1. Self-introduction 2. A Place I Recommend You Go 3. What I'm Worried about 4. If I Were the Principal 5. A Memory of Childhood 6. Japan's Prefectures 7. My Favorite Way to Eat Curry 8. The History of Mobile Phones in Japan 9. Family Rules 10. Manga in School Libraries 11. What We Can Do for the Environment 12. Are Animals in Zoos Happy?	<ul style="list-style-type: none"> 文の構成要素について学び、自分の夢について述べる。 時制に注意して英文を書き、スピーチのOpeningで聞き手に問いかける。 過去形・完了形の使い方を身に付け、Bodyの書き方に注意して、スピーチ原稿を書く。 仮定法の使い方を身に付け、Closingの書き方に注意して、スピーチ原稿を書く。 名詞と数について学び、意見を述べるとき表現を身に付ける。 受け身の用法について学び、比較・対照の表現の使い方を学ぶ。 分詞の用法について学び、時や順序を表す表現の使い方に注目する。 比較表現について学び、強調の表現の使い方に注目する。 知覚動詞・使役動詞・動名詞について学び、主張を支持する文について学ぶ。 関係詞、およびthatの用法について学び、ディスカッションの中で他の人の意見に反応を示してみる。 不定詞の用法や否定表現について学び、司会の決まり文句を身に付ける。 分詞構文・譲歩の表現について学び、相手の表現を引用してから主張する。 	<ul style="list-style-type: none"> 文の要素について理解し、言語を運用することができているか。 時制について理解し、言語を運用することができているか。 過去形と完了形について理解し、言語を運用することができているか。 仮定法について理解し、言語を運用することができているか。 名詞と数について理解し、言語を運用することができているか。 受け身について理解し、言語を運用することができているか。 分詞について理解し、言語を運用することができているか。 比較について理解し、言語を運用することができているか。 動名詞について理解し、言語を運用することができているか。 関係詞について理解し、言語を運用することができているか。 否定について理解し、言語を運用することができているか。 分詞構文について理解し、言語を運用することができているか。

	<p>13. Is Online Communication Good?</p> <p>14. Should English Be Our Official Language?</p>	<ul style="list-style-type: none">・無生物主語の文・itの用法について学び、論理的な主張をする。・助動詞・名詞構文について学び、相手の主張のポイントを絞って反論する。	<ul style="list-style-type: none">・無生物主語について理解し、言語を運用することができるか。・助動詞について理解し、言語を運用することができるか。
--	--	---	---

平成31年度 外国語科：英語演習

コース・単位数	3年：特進理系コース・特進文系コース・アスリート特進コース（3単位）			
学習の到達目標	英文法の基礎学力定着と、問題演習を通じて英語の運用上の基本事項を徹底学習し、総合的な英語力の完成をめざす。			
教科書	3年：Grow Up!英文法活用問題選（エスト出版）	副教材	Best Avenue 新エスト総合英語四訂版（エスト出版） Next Stage 英文法・語法問題 4th Edition（桐原書店）	
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているか。	既習の文法・構文等を用いた英文の内容を的確に理解しているか。	既習の文法・構文等を用いて、伝えたいことを表現できるか。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解しているか。
評価方法	コミュニケーション活動への参加態度 ワークシートの提出頻度と内容	定期考査 文法・構文小テスト	コミュニケーション活動への参加態度 ワークシートの提出頻度と内容	定期考査 文法・構文小テスト ワークシートの提出頻度と内容

学年	学習単元	学習方法	評価のポイント
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・文の成り立ち ・時制 ・助動詞 ・受動態 ・動名詞 ・不定詞 ・分詞 ・関係詞 ・比較 ・仮定法 ・話法 	<ul style="list-style-type: none"> ・参考書(Best Avenue)を用いて文法事項の基本概念を復習した後、問題を繰り返し練習することで、書きながら理解を深める。 ・語順整序問題と作文問題を繰り返し練習し、実践力・応用力をつける。 ・英文解釈問題に挑戦し、学習した文法事項の実際の英文中の使われ方を確認して、知識をより身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主語、述語動詞、修飾語の区別ができるか。 ・名詞・形容詞・副詞の働きをする語群の区別ができるか。 ・各時制の形と意味の違いが区別でき、適切な時制が選択、表現できるか。 ・助動詞の用法と意味を理解し、適切に表現できるか。 ・受動態の基本を理解し、能動態と受動態の書き換えができるか。 ・動名詞、不定詞、分詞の違いを理解し、慣用表現が定着しているか。 ・使役動詞、知覚動詞を用いた英文が理解できるか。 ・分詞構文を用いた英文が理解できるか。 ・適切な関係詞の選択ができ、関係詞を用いた比較的長い英文の読解、英作文ができるか。 ・比較・最上級の形が確実に身につけているか。 ・最上級の内容を表す原級・比較級の書き換えができるか。 ・仮定法過去・仮定法過去完了の区別ができ、直説法と仮定法の書き換えができるか。 ・直接話法の文を間接話法の文で表現できるか。

<p>3年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・否定表現 ・名詞構文・無生物主語強調・倒置 ・名詞・冠詞・代名詞 ・形容詞・副詞 ・前置詞 ・接続詞 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な文法事項を含む例文を用いて、基本事項を復習する。 ・空所補充問題を用いて、どの文法事項を問う問題か考察し、正答を当てるだけで満足するのではなく、他の選択肢がなぜ間違いなのかを考えながら参考書や辞書を確認し、ペアやグループで話し合う。 ・並べかえ問題で、語順を考え、語と語の結びつきを見つけ、文法を明確に認識し、自分で文を作るための基礎力を養う。 ・作文問題で、実際に自分で文を作る練習をし、どういう文法事項を使えばよいかを考え英語にしてみる。 ・英文解釈問題を、文法が実際の英文の中でどのように使われているかを確認しながら、文の意味を考える。 ・センター入試に備えて過去問を数多く解く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな否定語、準否定、部分否定、否定表現が身につけているか。 ・強調構文、倒置文の語順を理解し表現できるか。 ・数えられる名詞か数えられない名詞か見分けられるか。 ・冠詞の使い分けができるか。 ・代名詞の使い分けができるか。 ・形容詞・副詞の用法を理解し、語順が理解できているか。 ・前置詞と接続詞の意味を理解し、文中で適切に使用することができるか。 ・ペアやグループワークで積極的に意見交換ができているか。 ・学習した文法事項を用いてまとまりのある文章を書くことができるか。 ・学習した文法事項を用いてまとまりのある文章を正確に解釈できるか。
-----------	--	---	--

平成31年度 外国語科：英語演習

コース・単位数	3年：理系・文系Ⅰコース・文系Ⅱコース（2単位）			
学習の到達目標	基本事項の理解から発展して、文法と英文解釈、英作文の実力をバランスよく定着する。			
教科書		副教材	1日1題30日完成 高校英語入門 新訂版（日栄社）六訂版 英語演習ノート ORNGE版（数研出版）	
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	・モデル文を理解しながらしっかりと読もうとしている。 ・積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	・自分の意見や考えを適切な表現を用いて伝えることができる。 ・学んだ文法・表現を使って文を書くことができる。	・状況に応じた表現をすること、また書くことができる。	・各単元の文法・表現を理解し、知識として定着できている。
評価方法	授業中の活動 課題の内容	授業中の活動 課題の内容	授業中の活動 小テスト・定期試験	授業中の活動 小テスト・定期試験

学年	学習単元	学習方法	評価のポイント
3年	文の種類(1)(2)(3)	肯定文や否定文、疑問文などを学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の内容を正しく理解し、自分の伝えたいことを正確に話したり書いたりできているか。 ・英語の音声に慣れ、音読や英語のやり取り積極的に参加できているか。
	句と節	句と節を学ぶ。	
	文型(1)(2)	5文型と文型の変化を学ぶ。	
	時制(1)(2)	基本時制と時制の一致を学ぶ。	
	時制(3)(4)(5)	進行形と完了形を学ぶ。	
	不定詞(1)(2)	品詞と使い方と意味上の主語・時制を学ぶ。	
	分詞(1)(2)	分詞の種類と時制、分詞構文を学ぶ。	
	動名詞	主語と目的語、補語の働きを学ぶ。	
	準動詞の慣用表現	動名詞を含む慣用表現を学ぶ。	
	使役動詞	原形不定詞と使役の意味の表現を学ぶ。	
	知覚動詞	知覚動詞＋目的語＋原形不定詞の形を学ぶ。	
	受動態(1)(2)	動作・状態の受動態を学ぶ。	
	関係詞(1)(2)	関係詞と関係副詞について学ぶ。	
	仮定法(1)(2)	仮定法過去と仮定法過去完了、重要表現を学ぶ。	
	比較	原級・比較級・最上級について学ぶ。	
	話法	直接話法と間接話法について学ぶ。	
いろいろな表現	強調構文や倒置について学ぶ。		
発音	発音とつづり字について学ぶ。		

平成31年度 外国語科：総合的な学習の時間（SG 英語）

コース・単位数	2年：特進文系コース・アスリート特進コース（1単位）			
学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の国を海外の人に紹介する視点から、国際理解や国際協力に関心を持つ。 ・日本の社会・文化や地域の歴史・文化に目を向け、身近な事柄に関心を持ち、考察する意欲・態度を身に付ける。また、テーマにそった調べ学習を行い発表する。 			
教科書		副教材	Mainstream English Expression II 2nd Edition（増進堂） Deep Listening Level 1（日本英語検定協会）	
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	課題設定能力 さまざまな世界に、また日本に起きている諸問題に関心を持つ。その中から調べ学習の目標を決め、協同学習をしていく。	情報収集能力 新聞やインターネットの活用方法・特徴や役割を理解している。英語に関心を持ち、意欲的に学習している。	プレゼン能力 自分の調べたことを、しっかりと人に伝えることができる。発表にあたって、発音、流暢さ、声の大きさやアイコンタクトを評価する。	社会参画への力 海外の国々はもちろん、日本の社会・文化、自分たちの地域の事柄に関心を持ち、理解を深めている。
評価方法	ワークシート	ワークシート	プレゼンテーション オープニング（テーマ） 内容・結論が明確に構成されているか。	自分たちに今何ができるかを考える。提案できる。

学年	学習単元	学習方法	評価のポイント
2年	○自己紹介 テーマのオープニング、 アイスブレイク	Self-Introduction 簡単な自己紹介と日常会話を練習	生徒間で積極的に英語を使う努力がなされている
	リスニング	自己紹介に関わる内容の聞き取りと音声導入	英語を正しく聞き取ることができ、空欄を残すことなくワークシートに積極的に取り組むことができている
	語彙や例文の学習	ワークシートによる自己紹介における例文や語彙の学習	語彙や例文を確認する小テストで合格点に達している
	アウトライン作成	自己紹介のプレゼンテーションにむけた原稿やアウトライン作成	原稿の内容が明確に構成されているか、他者に伝わる英語で書かれているかを確認、添削
	発表準備	プレゼンテーションの練習	練習に対する積極性が見られる
	発表	クラスメイトの前で個々が準備した自己紹介スピーチの発表	以下のポイントに留意して効果的なスピーチができる ①声の大きさ ②アイコンタクト ③姿勢 ④スピーチの長さ
	反省	生徒のプレゼンテーションに対する評価と講評及び、生徒同士での良かった点、改善すべき点等の話し合い	生徒同士で改善点を話し合うことができているかを評価、良い例、悪い例を挙げることができ

	<p>○自分の住んでいる国や地域に関するスピーチ</p> <p>テーマのオープニング、アイスブレイク</p> <p>リスニング</p> <p>語彙や例文の学習</p> <p>アウトライン作成</p> <p>発表準備</p> <p>発表</p> <p>反省</p> <p>○自分の感情や状況を表現、提案をするスピーチ</p> <p>テーマのオープニング、アイスブレイク</p> <p>リスニング</p> <p>語彙や例文の学習</p>	<p>A Place I Recommend You Go</p> <p>場所に関する言葉や人に勧める表現での日常会話を学習、ペアで反復練習</p> <p>テーマに沿った語彙や表現の音声導入</p> <p>自分の住む地域に関して紹介するための語彙や例文の学習</p> <p>学習した語彙や表現を使い、A Place I Recommend You Goのトピックでスピーチアウトラインを作成、原稿作成</p> <p>原稿をもとにスピーチの練習</p> <p>クラスの前でスピーチを発表</p> <p>生徒のプレゼンテーションに対する評価と講評及び生徒同士で良かった点、改善すべき点等の話し合い</p> <p>What I am Worried about If I were the Principal</p> <p>卒業後のプランや心配していることについてやりとりする日常会話表現を学習、ペアで練習</p> <p>テーマに沿った会話の聞き取り、ワークシートへの取り組み</p> <p>モデル文の音読、頻出単語や表現を学習</p>	<p>る。</p> <p>生徒間で積極的に英語を使う努力がなされている</p> <p>英語を正しく聞き取ることができ、空欄を残すことなくワークシートに積極的に取り組むことができています</p> <p>語彙や例文を確認する小テストで合格点に達している</p> <p>原稿の内容が明確に構成されているか、他者に伝わる英語で書かれているかを確認、添削</p> <p>練習に対する積極性が見られる</p> <p>以下のポイントに留意して効果的なスピーチができる</p> <p>①声の大きさ ②アイコンタクト ③姿勢 ④スピーチの長さ</p> <p>生徒同士で改善点を話し合うことができていますかを評価、良い例、悪い例を挙げる事ができる。</p> <p>生徒間で積極的に英語を使う努力がなされている</p> <p>英語を正しく聞き取ることができ、空欄を残すことなくワークシートに積極的に取り組むことができています</p> <p>語彙や例文を確認する小テストで合格点（8割）に達している</p>
--	--	---	---

<p>アウトライン作成</p>	<p>モデル文の単語や例文を使い、Opening, Body, Closing の構成をベースにアウトライン作成、原稿作成</p>	<p>原稿の内容が明確に構成（Opening, Body, Closing）されている。他者に伝わる英語で書かれている。</p>
<p>発表準備</p>	<p>発音やイントネーションに留意してペアで練習</p>	<p>練習に対する積極性が見られる</p>
<p>発表</p>	<p>If I were the Principal のテーマに沿った内容でスピーチを発表</p>	<p>以下のポイントに留意して効果的なスピーチができる ①声の大きさ ②アイコンタクト ③姿勢 ④スピーチの長さ</p>
<p>反省</p>	<p>生徒のプレゼンテーションに対する評価と講評及び、生徒同士での良かった点、改善すべき点等の話し合い</p>	<p>生徒同士で改善点を話し合うことができているかを評価、良い例、悪い例を挙げるができる。</p>
<p>○自分の国の紹介するプレゼンテーション</p>	<p>Japan's Prefecture</p>	<p>生徒間で積極的に英語を使う努力がなされている</p>
<p>テーマのオープニング、アイスブレイク</p>	<p>日本について説明するための表現、語彙の学習 日本の写真や場所を見て英語で表現する練習</p>	<p>英語を正しく聞き取ることができ、空欄を残すことなくワークシートに積極的に取り組むことができている</p>
<p>調べ学習</p>	<p>台湾への修学旅行で交流する際、紹介したい日本の良いところや場所についての調べ学習（人口、地域、特色、有名なこと、その他情報）</p>	<p>タブレットを活用し、積極的な探求活動がなされている 疑問点等、クラスメイトと話し合いながら情報を見つけることができる</p>
<p>語彙や例文の学習</p>	<p>国の基本的な情報を伝達するための語彙と表現の学習</p>	<p>語彙や例文を確認する小テストで合格点に達している</p>
<p>アウトライン作成</p>	<p>Prefecture, Location/area, Population, Other information のアウトラインに沿って情報の書き込み、および原稿の作成</p>	<p>原稿の内容が明確に構成されているか、他者に伝わる英語で書かれているかを確認、添削</p>
<p>発表準備</p>	<p>プレゼンテーションの練習 写真等の Visual aid の作成</p>	<p>練習に対する積極性が見られる 以下のポイントに留意して効果</p>

発表①	写真やポスターなどの Visual を見せながら日本の紹介をするプレゼンテーションの発表	<p>的なスピーチができる</p> <p>①声の大きさ ②アイコンタクト ③姿勢 ④スピーチの長さ ⑤効果的な visul aid の活用</p>
発表②	台湾の修学旅行の経験についてスピーチ	<p>以下のポイントに留意して効果的なスピーチができる</p> <p>①声の大きさ ②アイコンタクト ③姿勢 ④スピーチの長さ</p>
反省	生徒のプレゼンテーションに対する評価と講評及び生徒同士で良かった点、改善すべき点等の話し合い	生徒同士で改善点を話し合うことができているかを評価、良い例、悪い例を挙げるができる。
○方法や手順を説明するプレゼンテーション	My Favorite Way to Eat Curry	生徒間で積極的に英語を使う努力がなされている
テーマのオープニング、アイスブレイク	いつ、どこで、なにを食べるのか、尋ねる会話表現の学習、ペアでの反復練習	英語を正しく聞き取ることができ、空欄を残すことなくワークシートに積極的に取り組むことができている
語彙や例文の学習	分詞の活用方法、語彙や表現を学習	語彙や例文を確認する小テストで合格点（8割）に達している
アウトライン作成	How to eat Curry, Your comments, others の見出しにそった内容でアウトライン作成、原稿の作成	原稿の内容が明確に構成れている。他者に伝わる英語で書かれている。
発表準備	写真探し、ポスター作製 原稿暗記、及び練習	練習に対する積極性が見られる
発表①	準備したプレゼンテーションの発表	<p>以下のポイントに留意して効果的なスピーチができる</p> <p>①声の大きさ ②アイコンタクト ③姿勢 ④スピーチの長さ ⑤Visual Aid</p>

<p>反省</p> <p>○Final Speech</p> <p>テーマ決定</p> <p>アウトライン作成</p> <p>発表準備</p> <p>発表</p> <p>反省</p>	<p>生徒のプレゼンテーションに対する評価と講評及び、生徒同士での良かった点、改善すべき点等の話し合い</p> <p>スピーチ及びプレゼンテーションのテーマを各自で自由に選択</p> <p>Opening, Body, Closing の基本的なアウトラインに沿ってアウトライン作成、原稿作成</p> <p>プレゼンテーションを行う場合はポスターの作成、発表練習</p> <p>各自のテーマでプレゼンテーション、及びスピーチを披露</p> <p>生徒のプレゼンテーションに対する評価と講評及び、生徒同士での良かった点、改善すべき点等の話し合い</p>	<p>生徒同士で改善点を話し合うことができているかを評価、良い例、悪い例を挙げるができる。</p> <p>生徒間で積極的に英語を使う努力がなされている</p> <p>原稿の内容が明確に構成れている。他者に伝わる英語で書かれている。</p> <p>練習に対する積極性が見られる</p> <p>以下のポイントに留意して効果的なスピーチができる</p> <p>①声の大きさ ②アイコンタクト ③姿勢 ④スピーチの長さ ⑤Visual Aid</p> <p>生徒同士で改善点を話し合うことができているかを評価、良い例、悪い例を挙げるができる。</p>
---	--	---

平成31年度 総合的な学習の時間 (SG 英語)

コース・単位数	3年：特進文系コース・アスリート特進コース(1単位)			
学習の到達目標	多様な言語活動を通して、世界各国の文化や歴史などの理解を深める。			
教科書		副教材	Deep Listening Level 2 (日本英語検定協会)	
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、自分の考えなどを表現している。	聴解文や会話において、話の詳細が理解できる。幅広く語彙が使用されていても話の主旨、目的、基本的な文脈が推測できる。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。
評価方法	間違いを恐れず、工夫をしながら情報を発信している。(発表)	情報や考えなどを正確に話すこと、書くことができる。(ディクテーション)	話の内容を正確に理解し、人に伝えることができる。(ペアワーク)	言語を正しく理解し、運用することができる。(発表)

学年	学習単元	学習方法	評価のポイント
3年	Part1 傾向確認編 第1問対策 第2問対策 第3問 A 対策 第3問 B 対策 第4問 A 対策 第4問 B 対策	繰り返し教材を聞き、大きな流れを捉えながら問題に取り組む。 ディクテーションに取り組む。 聞いたことを要約する。要約した内容を発表する。	センター試験のリスニングについて分野別の傾向をつかめるか。 聞き取った内容を十分に理解できているか。 自分で考えて、発表内容と文の構成が組み立てられているか。
	Part2 実践演習編 センター試験レベル 第1回、第2回 第3回、第4回、 第5回、第6回、 第7回、第8回	繰り返し教材を聞き、全体の流れを捉えつつ細部の表現についても注意を払い既習の単元と関連付ける。 (問題レベル：初級) ディクテーションに取り組む。 聞いたことを要約する。要約した内容を発表する。	各分野別の設問を解き、リスニング力をつけているか。 聞き取った内容を十分に理解できているか。 自分で考えて、発表内容の構成が組み立てられているか。
	センター試験レベル 第9回、第10回 第11回、第12回、 第13回、第14回、 第15回、第16回	繰り返し教材を聞き、全体の流れを捉えつつ細部の表現についても注意を払い既習の単元と関連付ける。 (問題レベル：中級) ディクテーションに取り組む。 聞いたことを要約する。要約した内容を発表する。	各分野別の設問を解き、リスニング力をつけているか。 リスニング教材の背景にある文化などを理解できているか。
	センター試験レベル 第17回、第18回 第19回、第20回、 第21回、第22回、 第23回、第24回	繰り返し教材を聞き、全体の流れを捉えつつ細部の表現についても注意を払い既習の単元と関連付ける。 (問題レベル：上級)	各分野別の設問を解き、リスニング力をつけているか。 リスニング教材の背景にある文化などを理解できているか。
	実践練習	実際のセンター入試と同じレベル、量の問題を	

	第1回、第2回、 第3回 実践練習 第4回、第5回 第6回、第7回	解く。	センター入試で得点するリスニング力をつけているか。
--	---	-----	---------------------------